

令和元年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員



2 監査第39号  
令和2年9月1日

長野市各財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小林義直
同	寺沢さゆり

令和元年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。



# 目 次

第 1 審査の対象 .....	1
第 2 審査の期間 .....	1
第 3 審査の方法 .....	1
第 4 審査の結果 .....	1
松代財産区特別会計 .....	2
豊栄財産区特別会計 .....	4
西寺尾本郷財産区特別会計 .....	6
今井財産区特別会計 .....	8
信級財産区特別会計 .....	10
日原財産区特別会計 .....	12
第 5 意 見 .....	14

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。



# 令和元年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 令和元年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計  
豊栄財産区特別会計  
西寺尾本郷財産区特別会計  
今井財産区特別会計  
信級財産区特別会計  
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書  
実質収支に関する調書  
財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年7月6日から8月24日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

# 松代財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,750,156 円に対する歳出決算額は 827,485 円で、歳入歳出差引残額 922,671 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	827,000	827,292	827,292	0	0	100.0	100.0
繰越金	361,000	922,860	922,860	0	0	255.6	100.0
繰入金	100,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合計	1,290,000	1,750,156	1,750,156	0	0	135.7	100.0
30年度	1,920,000	1,906,909	1,906,909	0	0	99.3	100.0
比較増減	△630,000	△156,753	△156,753	0	0	36.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	67.2	91.8	91.8	—	—	—	—

収入済額は 1,750,156 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 922,860 円及び財産収入 827,292 円である。

### (2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,260,000	827,485	0	432,515	65.7
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,290,000	827,485	0	462,515	64.1
30年度	1,920,000	984,049	0	935,951	51.3
比較増減	△630,000	△156,564	0	△473,436	12.8ポイント
前年度対比	67.2	84.1	—	49.4	—

支出済額は 827,485 円で、予算現額に対して 64.1%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。



## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	62,180	744	62,924	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中末増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	0	23,559,000

# 豊栄財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 244,805 円に対する歳出決算額は 14,204 円で、歳入歳出差引残額 230,601 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	197,000	223,964	223,964	0	0	113.7	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	220,000	244,805	244,805	0	0	111.3	100.0
30年度	233,000	244,033	244,033	0	0	104.7	100.0
比較増減	△13,000	772	772	0	0	6.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	94.4	100.3	100.3	—	—	—	—

収入済額は 244,805 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 223,964 円である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	170,000	14,204	0	155,796	8.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	220,000	14,204	0	205,796	6.5
30年度	233,000	20,069	0	212,931	8.6
比較増減	△13,000	△5,865	0	△7,135	△2.1ポイント
前年度対比	94.4	70.8	—	96.6	—

支出済額は 14,204 円で、予算現額に対して 6.5%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	225,771	0	225,771	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	19,050	230	19,280	—	—	—

## 西寺尾本郷財産区特別会計

### 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 523,082 円に対する歳出決算額は 305,645 円で、歳入歳出差引残額 217,437 円が翌年度へ繰り越されている。

#### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	31,000	23,004	23,004	0	0	74.2	100.0
繰越金	190,000	203,076	203,076	0	0	106.9	100.0
繰入金	297,000	297,000	297,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合 計	520,000	523,082	523,082	0	0	100.6	100.0
30年度	570,000	577,238	577,238	0	0	101.3	100.0
比較増減	△50,000	△54,156	△54,156	0	0	△0.7 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	91.2	90.6	90.6	—	—	—	—

収入済額は 523,082 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 297,000 円及び繰越金 203,076 円である。

#### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	490,000	305,645	0	184,355	62.4
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合 計	520,000	305,645	0	214,355	58.8
30年度	570,000	374,162	0	195,838	65.6
比較増減	△50,000	△68,517	0	18,517	△6.8ポイント
前年度対比	91.2	81.7	—	109.5	—

支出済額は 305,645 円で、予算現額に対して 58.8%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野 (畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,267,000	△ 297,000	4,970,000

# 今井財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 516,899 円に対する歳出決算額は 385,037 円で、歳入歳出差引残額 131,862 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	201,000	201,077	201,077	0	0	100.0	100.0
繰越金	153,000	121,822	121,822	0	0	79.6	100.0
繰入金	442,000	194,000	194,000	0	0	43.9	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合 計	798,000	516,899	516,899	0	0	64.8	100.0
30年度	741,000	737,094	737,094	0	0	99.5	100.0
比較増減	57,000	△220,195	△220,195	0	0	△34.7 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	107.7	70.1	70.1	—	—	—	—

収入済額は 516,899 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 201,077 円及び繰入金 194,000 である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	788,000	385,037	0	402,963	48.9
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	798,000	385,037	0	412,963	48.3
30年度	741,000	615,272	0	125,728	83.0
比較増減	57,000	△230,235	0	287,235	△34.7ポイント
前年度対比	107.7	62.6	—	328.5	—

支出済額は 385,037 円で、予算現額に対して 48.3%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	730,586	0	730,586	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	14,867	183	15,050	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	6,098,000	△ 194,000	5,904,000

# 信 級 財 産 区 特 別 会 計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 877,440 円に対する歳出決算額は 699,892 円で、歳入歳出差引残額 177,548 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	202,000	200,100	200,100	0	0	99.1	100.0
繰越金	676,000	677,335	677,335	0	0	100.2	100.0
諸収入	2,000	5	5	0	0	0.3	100.0
合 計	880,000	877,440	877,440	0	0	99.7	100.0
30年度	205,000	735,636	735,636	0	0	358.8	100.0
比較増減	675,000	141,804	141,804	0	0	△259.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	429.3	119.3	119.3	-	-	-	-

収入済額は 877,440 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 677,335 円である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	830,000	699,892	0	130,108	84.3
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	880,000	699,892	0	180,108	79.5
30年度	205,000	58,301	0	146,699	28.4
比較増減	675,000	641,591	0	33,409	51.1ポイント
前年度対比	429.3	1,200.5	-	122.8	-

支出済額は 699,892 円で、予算現額に対して 79.5%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。



## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	10,849.1	△ 334.2	10,514.9	—	—	—

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,000,000	650,000	1,650,000

# 日原財産区特別会計

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 175,050 円に対する歳出決算額は 34,192 円で、歳入歳出差引残額 140,858 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	80	80	0	0	2.7	100.0
繰越金	174,000	174,970	174,970	0	0	100.6	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	179,000	175,050	175,050	0	0	97.8	100.0
30年度	121,000	214,071	214,071	0	0	176.9	100.0
比較増減	58,000	△39,021	△39,021	0	0	△79.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	147.9	81.8	81.8	—	—	—	—

収入済額は 175,050 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 174,970 円である。

### (2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	169,000	34,192	0	134,808	20.2
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	179,000	34,192	0	144,808	19.1
30年度	121,000	39,101	0	81,899	32.3
比較増減	58,000	△4,909	0	62,909	△13.2ポイント
前年度対比	147.9	87.4	—	176.8	—

支出済額は 34,192 円で、予算現額に対して 19.1%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	12,408.5	194.2	12,602.7	—	—	—

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

## 第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。  
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、引き続き確認されたい。



令和元年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員



2 監査第40号  
令和2年9月1日

長野市東条財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小林義直
同	寺沢さゆり

令和元年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。





# 目 次

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。



# 令和元年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 令和元年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年7月6日から8月24日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、おおむね関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 713,259 円に対する歳出決算額は 276,385 円で、歳入歳出差引残額 436,874 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	1,832	1,832	0	0	61.1	100.0
繰越金	125,000	131,425	131,425	0	0	105.1	100.0
繰入金	580,000	580,000	580,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
<b>合計</b>	<b>710,000</b>	<b>713,259</b>	<b>713,259</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>100.5</b>	<b>100.0</b>
30年度	721,000	728,424	728,424	0	0	101.0	100.0
比較増減	△11,000	△15,165	△15,165	0	0	△0.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	98.5	97.9	97.9	—	—	—	—

収入済額は 713,259 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 580,000 円及び繰越金 131,425 円である。

### (2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	92,000	72,000	0	20,000	78.3
総務費	608,000	204,385	0	403,615	33.6
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
<b>合計</b>	<b>710,000</b>	<b>276,385</b>	<b>0</b>	<b>433,615</b>	<b>38.9</b>
30年度	721,000	596,999	0	124,001	82.8
比較増減	△11,000	△320,614	0	309,614	△43.9ポイント
前年度対比	98.5	46.3	—	349.7	—

支出済額は 276,385 円で、予算現額に対して 38.9%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 204,385 円である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	16,179	0	16,179	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	186,111	0	186,111	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	5,413	3	5,416	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	10,500	0	10,500

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	18,347,742	△ 580,000	17,767,742

## 第5 意 見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。

令和元年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員





2 監査第41号  
令和2年9月1日

長野市西条財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小林義直
同	寺沢さゆり

令和元年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。



# 目 次

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。



# 令和元年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 令和元年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年7月6日から8月24日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、おおむね関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,307,124 円に対する歳出決算額は 918,092 円で、歳入歳出差引残額 389,032 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	104,000	102,327	102,327	0	0	98.4	100.0
繰越金	654,000	664,224	664,224	0	0	101.6	100.0
繰入金	495,000	495,000	495,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	45,000	45,569	45,569	0	0	101.3	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	1,300,000	1,307,124	1,307,124	0	0	100.5	100.0
30年度	1,359,000	1,485,389	1,485,389	0	0	109.3	100.0
比較増減	△59,000	△178,265	△178,265	0	0	△8.8 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	95.7	88.0	88.0	—	—	—	—

収入済額は 1,307,124 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 664,224 円及び繰入金 495,000 円である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	393,000	382,800	0	10,200	97.4
総務費	503,000	375,244	0	127,756	74.6
林業費	327,000	160,048	0	166,952	48.9
林道費	42,000	0	0	42,000	0.0
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	1,300,000	918,092	0	381,908	70.6
30年度	1,359,000	821,165	0	537,835	60.4
比較増減	△59,000	96,927	0	△155,927	10.2ポイント
前年度対比	95.7	111.8	—	71.0	—

支出済額は 918,092 円で、予算現額に対して 70.6%の執行率である。

支出済額の主なものは、議会費 382,800 円及び総務費 375,244 円である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	83,853.23	1,511.00	85,364.23	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	24,220,000	△ 495,000	23,725,000

## 第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。  
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、引き続き確認されたい。





令和元年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員



2 監査第42号  
令和2年9月1日

長野市大岡中牧財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小林義直
同	寺沢さゆり

令和元年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。



# 目 次

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。



# 令和元年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 令和元年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年7月6日から8月24日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、おおむね関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。



## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 5,462,137 円に対する歳出決算額は 4,992,181 円で、歳入歳出差引残額 469,956 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,290,000	5,292,032	5,292,032	0	0	100.0	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	150,000	170,084	170,084	0	0	113.4	100.0
諸収入	2,000	21	21	0	0	1.1	100.0
合 計	5,443,000	5,462,137	5,462,137	0	0	100.4	100.0
30年度	5,543,000	5,593,004	5,593,004	0	0	100.9	100.0
比較増減	△100,000	△130,867	△130,867	0	0	△0.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	98.2	97.7	97.7	—	—	—	—

収入済額は 5,462,137 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 5,292,032 円である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	209,000	174,800	0	34,200	83.6
総務費	5,184,000	4,817,381	0	366,619	92.9
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合 計	5,443,000	4,992,181	0	450,819	91.7
30年度	5,543,000	5,422,920	0	120,080	97.8
比較増減	△100,000	△430,739	0	330,739	△6.1ポイント
前年度対比	98.2	92.1	—	375.4	—

支出済額は 4,992,181 円で、予算現額に対して 91.7%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 4,817,381 円である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	57,653.62	1,172.38	58,826.00	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,146,128	531,029	23,677,157
有 価 証 券	10,000,000	0	10,000,000
合 計	33,146,128	531,029	33,677,157

### (3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

## 第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。  
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、引き続き確認されたい。

基金現在高が多額となっており、財産区住民の福祉の増進のために計画的に活用されたい。

今後、立木の販売による収入が見込まれる際には、長野市の事業に充てることも検討されたい。



令和元年度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員



2 監査第43号  
令和2年9月1日

長野市信州新町中牧財産区  
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	小林義直
同	寺沢さゆり

令和元年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和元年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。





# 目 次

第 1	審査の対象 .....	1
第 2	審査の期間 .....	1
第 3	審査の方法 .....	1
第 4	審査の結果 .....	1
1	決算の概況 .....	2
2	財産に関する調書 .....	3
第 5	意 見 .....	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。



# 令和元年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

### 1 令和元年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

### 2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

## 第2 審査の期間

令和2年7月6日から8月24日まで

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

## 第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

## 1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,526,884 円に対する歳出決算額は 1,826,203 円で、歳入歳出差引残額 700,681 円が翌年度へ繰り越されている。

### (1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,868,000	1,869,084	1,869,084	0	0	100.1	100.0
繰入金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	657,000	657,787	657,787	0	0	100.1	100.0
諸収入	2,000	13	13	0	0	0.7	100.0
合 計	2,528,000	2,526,884	2,526,884	0	0	100.0	100.0
30年度	3,004,000	3,033,239	3,033,239	0	0	101.0	100.0
比較増減	△476,000	△506,355	△506,355	0	0	△1.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	84.2	83.3	83.3	—	—	—	—

収入済額は 2,526,884 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,869,084 円である。

### (2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	292,000	169,900	0	122,100	58.2
総 務 費	2,036,000	1,656,303	0	379,697	81.4
予 備 費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	2,528,000	1,826,203	0	701,797	72.2
30年度	3,004,000	2,375,452	0	628,548	79.1
比較増減	△476,000	△549,249	0	73,249	△6.9ポイント
前年度対比	84.2	76.9	—	111.7	—

支出済額は 1,826,203 円で、予算現額に対して 72.2%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 1,656,303 円である。

## 2 財産に関する調書

### (1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立木 (m <sup>3</sup> ) (推定蓄積量)	57,653.62	1,172.38	58,826.00	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	62,800	0	62,800

### (2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,118,000	550,000	5,668,000

### (3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

## 第5 意 見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。  
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、引き続き確認されたい。

